

講義名	現代ビジネス		
科目区分	学部専門基礎		
担当教員	上田 義朗		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>世界また日本における現在進行中のビジネスの実態や課題について具体的に学びます。そのため新聞や雑誌の記事を配布します。</p> <p>その具体的な記事を検討するための基本的な分析視角として、教科書に掲載された合計50のビジネス理論を活用します。</p> <p>具体的な事例を理論的に考え、その事例の背景や問題点を抽出し、今後の展望を推論する。これらを通してビジネス感覚を養成します。</p>			

到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界や日本のビジネス記事の内容を理解し、それについて何らかの論評ができるようになります。 2. 教科書を通して経営学の理論を広く浅く学ぶことができます。 3. 企業経営の課題の抽出とその解決策を検討できるようになります。 			

提出課題			
レポートを何度か提出してもらいます。			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
講義中に執筆したレポート内容について口頭で発表し、それについて議論します。レポートの口頭発表や、その議論に参加した学生に得点を与えます。			

評価の基準			
<p>レポートと発言を総合的に評価します。</p> <p>期末試験の実施の有無については受講生の人数を勘案して判断して発表します。</p> <p>積極的な講義参加を評価の重点とします。したがって評価では講義中の発言が重視されます。</p>			

履修にあたっての注意・一言他			
<p>間違っても良いので積極的に発言して下さい。それが評価の点数になります。</p> <p>たとえばユニクロ、QBハウス、スターバックス、大塚家具など新聞や雑誌に登場する企業を事例とするほかに、業界分析や時事問題を取り上げます。同時に教科書も1冊全部を読むことを予定していますから、受講生にとっては、かなりハードな講義になると思います。</p>			

教科書			
世界のエリートが学んでいるMBA必読書50冊を1冊にまとめてみた	永井孝尚	KADOKAWA	1848円
			978-4-04-604053-4

プリント資料及び参考文献			
<p>主要新聞を始め『日経ビジネス』、『東洋経済』、『週刊ダイヤモンド』、『エコノミスト』等の記事を配布します。そのほか経営学の関連資料を配付します。参考文献については、適時指示します。</p>			

授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞記事の配布と議論、教科書の参照と内容の説明と議論 2. 同上 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. 同上・・・講義全体の総括 			

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
<input type="radio"/>	A：PBL（課題解決型学習）		
<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
<input type="radio"/>	ウ：ディスカッション、ディベート		
	エ：グループワーク		
	オ：プレゼンテーション		
	カ：実習、フィールドワーク		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間			
<p>予習：30～60分。事前に教科書や資料を読んでもらいます。その予習内容を講義中に発表。また口頭の質問に対する回答をしてもらいます。これらに得点を与えます。</p> <p>復習：講義中に前回の講義内容について口頭で確認の質問をします。この回答に得点を与えます。</p>			

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述			
<p>教員から受講生に対して積極的に質問します。</p> <p>受講生は講義中にSNSを使用して、専門用語や具体的な事例またYouTubeを閲覧して、それについて発表してもらいます。これについて得点を与えます。</p>			

実務経験の有無及び活用			
<p>実務経験あり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 株式投資ファンドの組成（岩井コスモ証券、販売終了） 2. 海外進出のコンサルティング（現職：日本ベトナム経済交流センター副理事長） 3. 複数業種の国際的なビジネスマッチング（現職：ネパールHRD I C社顧問、合同会社T E T） 4. 映画『ベトナムの風に吹かれて』（主演：松坂慶子、監督：大森一樹）製作（製作委員会・エグゼクティブ・プロデューサー） <p>・・・研究上の論理的な整合性と、実務上の非論理的で柔軟な現実の「乖離」について、その理由や背景についての私の具体的な経験と知見は、受講生の指導に活用できます。</p>			

備考			
<p>質問は講義の最中や前後にして下さい。またメールを歓迎します。 Yoshiaki_Ueda@red.ums.ac.jp</p>			